

駅前風景 切り撮って

豊橋で17日イベント

初開催の「豊橋路上百人百景」への参加を呼び掛ける豊橋駅前大通地区まちなみデザイン会議の黒野常務理事＝豊橋市駅前大通で



来年度から整備が始まる豊橋駅前の風景を記録に残そうと、まちなかを歩きながら撮影する企画「豊橋路上百人百景」が十七日に開かれる。事前申し込みした先着百人に二十七枚撮りのフィルム式のインスタントカメラを配り、駅前の水上ビルと萱町通り周辺の町並みを自由に撮影してもら

る。程で住民から「古い写真が残っておらず、今の風景を残したい」との声が上がり、イベントが企画された。

主催する地元事業者らでつくる「豊橋駅前大通地区まちなみデザイン会議」常務理事の黒野有一郎さん(50)は「普段はあえて撮影しない商店街の日常を、それぞれの目線で切り取ってほしい」と呼び掛けている。

様の撮影企画の開催を検討する。黒野さんは「歩く速度じゃないと気付けない町の魅力があり、百人百景が町並みに意識を向けるきっかけになれば」と期待している。

十歳以上が対象で、居住地域に関係なく参加可。参加費五百円。雨天決行。申し込みは、名前、年齢、電話番号、メールアドレス、住所を記入し、同デザイン会議事務局Ⅱファクス0532(56)0102Ⅱか、メール(10toyohashi@gmail.com)へ。

豊橋市は今春、車道を歩道の高さに一部かさ上げし、人々が滞留する空間づくりなどを目指す「ストリートデザイン事業計画」を策定。検討過

定。整備中や整備後も同

九月には撮影した全写真二千七百枚の展示会のほか、都市計画の専門家によるトークショーも予

定。整備中や整備後も同